

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 山上 尊士

- I 開催年月日 令和 8 年 7 月 28 日（火）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 20 分
III 出席委員等 〔出席委員〕◎山上 尊士 ○酒井 善広 水越 進一
塚本 政彦 林 貴文 福井 直樹
筏井 哲治
(◎…委員長 ○…副委員長)
〔議長〕 曾田 康司 議長は委員として出席
〔副議長〕 中村 清志
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 山野井拓也
〔事務局職員〕 松本 武司 竹田 裕子 戸成 秀徳
〔傍聴者〕 2 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、報告はなかった。 〉

2 その他について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【高岡市開発指導要綱の見直しについて】

○ 液状化の防止策として、令和 8 年 7 月に高岡市開発指導要綱が見直しされたと仄聞しているが、具体的な内容は。

△ 高岡市開発指導要綱は、都市計画法や建築基準法などの関係法令に定めるもののほか、宅地開発事業等に関連する公共施設及び公益施設の整備に関して、市と事業者が協議すべき事項について必要な基準を定めているものである。しかしながら、その基準は液状化被害を念頭に置いたものではないことから、今回、7 月 1 日施行で要綱の一部を改正し、事業者に対して事前の調査等を通して液状化被害の軽減・防止に努めることとした。具体的には、第 17 条に、「事業者は、宅地の液状化被害可能性判定に関わる技術指針に基づき、液状化発生の可能性を把握し、必要に応じて液状化対策を

講じることにより、液状化による宅地の被害発生防止・軽減に努めること」という文言を追加した。

- 液状化対策は、要綱の改正により事業者に義務化されるのか。また、義務化されないのであれば、どのように実行していくのか。
- △ 現在の法律ならびに指導要綱の中では、建物を地耐力のない状態で建てないよう、調査、対策することは義務化されている。ただ、液状化に関しては、まだ義務化する法律がなく、今回の指導要綱の改正でも努力義務になっている。また、周知等に関しては、建設業界や関係するところには案内するとともに、高岡市開発指導要綱に規定する宅地開発事業については、すべて建築政策課が窓口対応することから、相談や申請された際には、その旨も伝えたいと考えている。

【「ミライを耕す！農センCafé」について】

- 初めての企画と思うが、内容は。また、開催するに至った経緯と目的は。
- △ この度、高岡市農業センターの今後の利活用を考えるため、「ミライを耕す！農センCafé」を開催することとした。同センターは、設置から30年以上が経ち、時代とともに役割や機能が変化していることから、指定管理者の更新時期を捉え、農業関係者をはじめ地域住民の方々、食に関わる関係者の皆様が集まり、ワールドカフェの手法により、参加者が自由に対話を行い、アイデアや気づきを共有する場として、今回初めて企画するものである。
- 定員60名とのことだが、応募の状況は。
- △ 現時点で30名ほどの申し込みをいただいている。内訳としては、農業関係者をはじめ地域住民の皆様、食品関係者、大学関係者、福祉事業者など、こちらが期待していたような様々な方から申し込みをいただいております。当日は大変楽しみにしている。
- まず、この件については、通告で質問する前に当局から報告していただきたかった。また、農業センターの有効活用については、現状、十二分に活用されていないと感じているため、これを機会に様々な意見を聞きながら、市独自の取組に活かしていただきたい。（要望）

【高岡城わくわくフェスティバル！について】

- 日本海高岡なべ祭りの初回が高岡古城公園の本丸広場で開催され、当時は大変な人出があり、芝生の復旧に多額の費用を要したと伺っている。そこで、高岡城マルシェが開かれる本丸広場の養生対策は。
- △ 先日の市長記者会見でも発表させていただいたとおり、令和8年度から、前田利長公が高岡城に入場した記念すべき日を広く周知するため、開町の日にあわせ、「高岡開町の祖 前田利長公入場記念！高岡城わくわくフェスティバル！」を開催する。高岡城マルシェについては、軽食やドリンク、スイーツなどを販売するキッチンカーを池之端側の芝生のない園路に配置する予定としている。また、飲食や休憩していただくため、本丸広場の芝生の上にテーブルや椅子を設けることとしている。設置にあたっては、芝生の損傷防止のため、テーブルや椅子の足元にゴムマットを敷くなどの養生を行う予定としている。

○ 予定している各種イベントに込めた思いは。

△ 高岡城わくわくフェスティバル！は、慶長 14 年に前田利長公が築き、現在では国史跡となっている高岡城跡の歴史的・文化的価値を改めて認識していただくとともに、高岡古城公園としての魅力を肌で感じていただきたいという思いを込めて企画している。当日は様々なイベントを予定しているが、例えば、鷹匠体験では、利長公が好んだとされる鷹狩の一端を経験していただきたいと考えている。また、高岡城魅力発見ツアーでは、本丸土橋石垣や本丸広場などを巡ることにより、利長公が築いた高岡城の見どころについて知っていただきたいと考えている。さらに公園内を巡るクイズラリーでは、城址保存のため、公園指定の請願運動に尽力された服部嘉十郎先生の頌徳碑にも足を運んでいただくこととしており、市民の努力によって公園が守り継がれてきたことにも触れていただきたいと考えている。本イベントが市民の方々にとって、高岡城や高岡古城公園への誇りを一層深める機会となり、さらには交流人口の拡大にもつながるものと期待しており、令和 9 年度以降も継続して実施し、高岡開町の日を広く周知していきたいと考えている。

○ 今回のイベントは、市長肝いりのイベントだと捉えている。先日、本委員会の行政視察で、宮城県大崎市岩出山地区に行き、政宗公まつりについての説明を聞いてきた。今年で 63 回目となるこの祭りは、9 月の第 2 土曜日、日曜日に開催されるため、小中学校を登校日にし、次の日を振替休日にすることで、子どもたちも参加できる仕組みを整えている。対して、この高岡城わくわくフェスティバル！をはじめ、曳山祭り等の高岡の祭りは、見たり、聞いたり、食べたりなど、参加するイベントとしてはとてもいいと思うが、市民が一緒になってつくり、シビックプライドを高めるイベントとしては物足りない考える。9 月のイベント実施後には、今後、どのように開催していくかを再度ご検討いただきたい。（要望）

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 高岡市経営セミナーについて
- (2) 伝統工芸ワークショップについて
- (3) イベントの開催について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２８名）

産業振興部長	長 久 洋 樹	都市創造部長	山 森 久 史
産業振興部次長	須 田 稔 彦	都市創造部次長	渡 辺 昌 樹
産業振興部次長	大 野 洋 靖	都市創造部次長 都市計画課長	中 出 裕 嗣
産業企画課長	布 橋 み ち る	都市創造部技術政策監 震災復旧推進課長	橘 篤 志
商業雇用課長	澤 田 剛 章	景観みどり課長	河 合 功 治
観光交流課長	野 村 岳 人	道路整備課長	田 口 昌 子
農業水産課長	小 林 新 平	土木維持課長	中 澤 俊 一
農地林務課長	横 山 太 一	建築政策課長	氷 見 和 人
みなと振興課長	水 上 暁	営繕課長	井 林 哲 雄
地域振興交流課長	有 栖 友 広	福岡駅前土地区画整理推進室長	大 井 孝 弘
農業委員会事務局長（併任）	大 野 洋 靖	上下水道事業管理者	二 塚 英 克
		上下水道局長	寺 井 義 則
		上下水道局次長 総務課長	亀 岡 勝 彦
		上下水道局参事	熊 本 敬 二
		営業課長	片 岡 利 行
		水道工務課長	上 蓑 憲 男
		下水道工務課長	高 林 隆
		施設維持課長	村 栄 正 英